

## 金融取引調停申立書(業者側)

札幌弁護士会紛争解決センター 御中

令和 年 (札紛)第 号 (金融第 号)

申立年月日 令和 3年 6 月 25 日	
申立人	住所(〒〇〇〇-〇〇〇〇) TEL (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇 札幌市中央区南〇条西〇丁目〇番地 氏名(法人名・代表者名) 印 〇〇証券株式会社 〇〇支店 支店長 甲 野 太 郎
代理人	住所 〒 TEL ( ) - 氏 名
相手方	住所 〒〇〇〇-〇〇〇〇 TEL (〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇 札幌市北区北〇条西〇丁目〇番〇号 氏 名 札 弁 一 郎 職業 無職 年齢 70歳無色 *相手方が複数いる場合には、別紙をご利用下さい。
添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 委任状 <input checked="" type="checkbox"/> 証拠書類 <input type="checkbox"/> 通 <input checked="" type="checkbox"/> 資格証明書(相手方が法人の場合) <input type="checkbox"/> 当事者・全法定相続人の戸籍・除籍謄本等(当事者死亡の場合)
希望する調停手続実施場所 (ただし、ご希望に沿えない場合もございます。)	
<input checked="" type="checkbox"/> 札幌 <input type="checkbox"/> 旭川 <input type="checkbox"/> 函館 <input type="checkbox"/> 釧路 <input type="checkbox"/> 帯広 <input type="checkbox"/> 北見 <input type="checkbox"/> 網走	

1. 申立ての趣旨（相手方に求める結論）
令和2年1月18日に札弁一郎さんと締結した投資信託購入契約について、当社が
損害賠償責任を負わないことの確認を求める。
2. 紛争発生年月日
昭和・平成 年 月 日
3. 紛争の内容(担当者・説明した者の氏名等を明記して下さい。)
令和2年1月18日に札弁一郎さんが購入した投資信託について、価格が下がった
として、差額分の損害賠償を請求されていますが、当社の担当者（乙川花子）とから元本
が保証されない商品であることは十分説明しており、札弁一郎さんも説明を受けたことを
認めた旨の書面に署名押印もしていますので、当社が損害賠償をする必要はありません。
4. 相手方が主張している被害額等
100万円

5. 相手方との事前交渉の有無・内容	
令和3年1月10日に札弁一郎さんが当支店にて投資信託契約の解約をした際にも	
当支店の丙山次郎から元本が保証されない商品であることを説明しましたが、理解していただけませんでした。令和3年3月15日に再度札弁一郎さんが息子さんと当支店を訪	
れた際にも再度、丙山次郎から説明しましたが、納得していただけませんでした。	
その後も札弁一郎さんから繰り返し電話があるので、第三者を介して解決をはかりたい	
と考え、本申立を行いました。	
6. 紛争の概要	
(申立人が主張する紛争の概要を時間の流れに沿って、簡潔・明瞭に記載して下さい。なお、この申立書は相手方にも写しを送付することにご留意下さい。)	
年月日	事 実
R2.1.12	乙川花子が札弁一郎さんの自宅を訪問し、投資信託を勧誘した。
R2.1.18	投資信託購入契約を締結し、札弁一郎さんから500万円を受領した。
R3.1.10	札弁一郎さんが当支店を訪れ、投資信託契約を解約される。
	値下がりしたことについて不満を述べたことから丙山次郎において説明した。
R3.3.15	札弁一郎さんが息子さんと一緒に当支店を訪れ、値下がりしたことについて
	損害賠償請求を求められる。丙山次郎において損害賠償はできないと説明し
	た。

※ 上記枠内に記載しきれない場合には、適宜、別紙をご利用下さい。